

しのばず自然観察会より 2018-09 2018.09.09

2018年9月の活動 その2 第12回『上野しのばず学習会』のご案内

テーマ：しのばず自然観察会の歴史(4)：

1990年代 「上野の杜事典」刊行と「上野そのまんま博物館」の活動

と き： 9月29日(土) 午後2時 - 4時

時 間：午後1時45分開場 学習会午後2時～4時 交流会と後片付け5時までに終了

場 所：「谷中の家」台東区谷中3-17-11 路地に面し壁面を木で格子状に覆つ

た民家です。東京メトロ千駄木駅2出口より徒歩7分、またはJR・京成日暮里駅

北口より徒歩10分、またはJR 西日暮里駅道灌山口より徒歩7分 (地図参照)

共 催：しのばず自然観察会、上野のお山を学ぶ会

参加費：両会の会員は無料、会員外200円 (資料代)

連絡先：小川潔 (電話 03-3828-8775 当日午後1時20分まで)



しのばず自然観察会発足20周年を記念して、上野公園を住民の目線から紹介する本をつくらうと、隔週に編集会議を持ち、知識、取材内容を編集委員間で共有化し、1995年9月に冊子は谷根千工房より刊行されました。振り返ると、上野公園を日常生活の場にしてきた世代からの聞き取りが可能な最後のタイミングでした。公園内文化施設等のショップによる販売応援もあり、冊子は3年で完売となりました。

また、上野公園正式開園から120周年ということで、しのばず自然観察会も参加する「不忍池を愛する会」と東京都上野公園緑の相談所(当時)が共催で「上野そのまんま博物館」と題する一連の文化行事を行いました。

冒頭は1996年3月、江戸文化史の第一人者であった故西山松之助さんによる「江戸の花見、上野の花見」と題する熱演で始まり、行事は1年間続きました。当日は西山さんの講演の音声記録や昭和30年代後半の上野公園の映像も再現の予定です。

2018年10月の活動 水元公園散策

と き：10月21日(日) 小雨実施 雨天中止 (迷う時は中止と判断してください)
集 合：午前10時 水元公園「ポプラ並木」バス停 緑の旗が目じるし
乗り物：JR金町駅南口バス停7番乗り場京成バス(金63水元公園循環バス土日のみ)
9時40分発に乗車(前後のバスは20分間隔)でポプラ並木下車(9時52分着)
(バス代220円)
持ち物：筆記用具、弁当、飲み物、雨具、敷物、帽子、あれば双眼鏡
参加費：200円

小合溜と呼ばれた水辺に沿ってつくられた都立公園で、水郷を思わせる景観や、釣りができる池、都立水産試験場跡などがあります。また、植えられた樹林も見どころです。今回は公園の北半分を歩き、カワセミの里で解散予定です(循環バス終点)。

2018年8月の活動 不忍池 蓮見 より

8月の活動は5日(日)の暑い中、10名が参加して不忍池の蓮見を行いました。今年初夏から暑い日が多く、6月末からハスが開花、活動日は満開から少し散りはじめも交じていました。昨年見た白いハスの花は見つかりませんでした。その個体の花期に出会えなかったのか、個体自体がなくなったのかはわかりません。

この日も暑かったのですが、集合時刻の直前、弁天堂裏の橋のところで、スッポンがデレツとしていました。

見られたおもな生きもの：シオカラトンボ、コシアキトンボ、ショウジョウトンボ、ウチワヤンマ、ギンヤンマ、スッポン(集合前)、アカミミガメ、カルガモ、カイツブリ、コイ、ブルーギル? (真上から見ているので、細身の魚に見えますが、ハテナ?)



蓮池風景



ハスの花



甲羅干しをするスッポン

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL: <http://sinobazu.extrem.ne.jp>
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円 ほかに行事参加費

2017年以前の会費未納の方も忘れなく! 退会の場合は早めに葉書で事務局へ。